

令和7年度 あさぎり町立岡原小学校学校だより

未来は今 The future is now

令和7年12月4日（木）No.27 あさぎり町立岡原小学校長 溝口 博史

岡原小から世界大会に出場！

本校のクラブ活動の一つに、伝承遊びクラブがあり、その中の活動の一つとして、今年度「球磨拳」に取り組み、岡原の球磨拳愛好家の方々（鶴本さん、生森さん、小林さん、郡山さん、宮原さん）を講師として招き、マンツーマンで指導していただきました。

みんな、あっという間に球磨拳を覚え、球磨拳愛好家の方々のお墨付きをいただき、グラブのメンバーのうち、4年生2人が、12月7日に多良木町で行われる世界大会に出場することになりました。素晴らしいことです。

子供たちが、将来、たとえこの地を離れても、「ああ、小学生の頃、球磨拳ってやったよね、おもしろかったなあ」という思いがあれば、それが故郷への愛着になり、アイデンティティーの一つになるのではないかと思います。世界大会に出場する2人、がんばってください！

球磨拳世界大会の詳細は、こちらの2次元コードをご覧ください。

世界大会に向けて
「球磨拳」習得

岡原小伝承遊びクラブ 住民訪れ児童指導

5、6年生の児童を対象に計4回の「クラブ活動」を実施し、「伝承遊びクラブ」の活動には、球磨拳に精通する住民4人が指導者として来校。

本動作を説明し、児童たちが拳の出し方などを覚えると、向かい合って対戦を楽しんだ。

4年生の久保田颯介君（9）は「ルールを見えたのが少し難しかったけれど、とても楽しめた。世界大会で勝つように練習を頑張りたい」と笑顔。

昨日の「球磨拳世界大会」の個人の部で優勝している鶴本幸伸さん（84）は「昔と比べて地区内でも球磨拳をする人が少なくなり、球磨拳の文化を地域に残したいと思っていた中で、子どもたちが球磨拳を楽しんでくれてうれしい。子どもたちはみんなやる気もあって見えも早かったと喜んでいた。

地域住民と球磨拳を楽しむ児童たち

あさぎり町の岡原小学校（溝口博史校長）の「伝承遊びクラブ」に所属する男女児童6人は先月、住民らの指導の下、地域に伝わる球磨拳の習得に励んだ。

12月2日（火）人吉新聞から



世界大会に出場する4年生2人



Instagram 更新中！
kumaken_world_cp
「くまけん」「球磨拳」で検索！

